

共働・共助による事業活動の推進／自主・自立による組織活動への参加

シルバー

2024 Vol.177 合併号

世帯がや

創立45周年記念号

創刊号から 第100号まで シルバー人誌セブター
創立40周年記念号



Vol. 157
2019. 春号

創刊号から 第100号まで シルバー人誌セブター
創立40周年記念号

2019.3 157号 合併

Vol. 157
2019. 春号



創刊号から 第100号まで シルバー人誌セブター
創立40周年記念号

Vol. 158
2019. 夏号



創刊号から 第100号まで シルバー人誌セブター
創立40周年記念号

Vol. 159
2019. 秋号



創刊号から 第100号まで シルバー人誌セブター
創立40周年記念号

Vol. 160
2020. 新年号



創刊号から 第100号まで シルバー人誌セブター
創立40周年記念号

Vol. 161
2020. 春号



創刊号から 第100号まで シルバー人誌セブター
創立40周年記念号

Vol. 162 (163)
2020. 夏号



創刊号から 第100号まで シルバー人誌セブター
創立40周年記念号

Vol. 164
2021. 新年号



創刊号から 第100号まで シルバー人誌セブター
創立40周年記念号

Vol. 165
2021. 春号



創刊号から 第100号まで シルバー人誌セブター
創立40周年記念号

Vol. 166
2021. 夏号



創刊号から 第100号まで シルバー人誌セブター
創立40周年記念号

Vol. 167
2021. 秋号



創刊号から 第100号まで シルバー人誌セブター
創立40周年記念号

Vol. 168
2022. 新年号



創刊号から 第100号まで シルバー人誌セブター
創立40周年記念号

Vol. 169
2022. 春号



創刊号から 第100号まで シルバー人誌セブター
創立40周年記念号

Vol. 170
2022. 夏号



創刊号から 第100号まで シルバー人誌セブター
創立40周年記念号

Vol. 171
2022. 秋号



創刊号から 第100号まで シルバー人誌セブター
創立40周年記念号

Vol. 172
2023. 新年号



創刊号から 第100号まで シルバー人誌セブター
創立40周年記念号

Vol. 173
2023. 春号



創刊号から 第100号まで シルバー人誌セブター
創立40周年記念号

Vol. 174
2023. 夏号



創刊号から 第100号まで シルバー人誌セブター
創立40周年記念号

Vol. 175
2023. 秋号



創刊号から 第100号まで シルバー人誌セブター
創立40周年記念号

Vol. 176
2024. 新年号



創刊号から 第100号まで シルバー人誌セブター
創立40周年記念号

目次

世田谷区シルバー人材センター 創立45周年記念号

- ◆目次・運営の指針 2
- ◆創立45周年を迎えて ご挨拶
公益社団法人 世田谷区シルバー人材センター会長
山田 正孝 ... 3
公益社団法人 世田谷区シルバー人材センター
名誉会長・世田谷区長 保坂 展人
世田谷区議会議長 おぎの けんじ ... 4
公益社団法人 世田谷区シルバー人材センター事務局長
小湊 芳晴
公益社団法人 世田谷区シルバー人材センター
「会員憲章」 5
- ◆当センターの平成30年度からの実績資料編
年度別・事業別実績表 15
当センターのあゆみ
(2018年(平成30年)～2023年(令和5年)) 16
受託件数・延就業日数・配分金の推移
年度別会員数・就業状況 17
年度別・年齢別会員構成 18
年度別・職群別配分金構成 18
役員名簿
事務局職員名簿 19
当センター(本部・烏山支部・用賀ワークプラザ)所在地
・奥付 20
- ◆コロナ禍の5年間 6～8
- ◆総務部会 9
- ◆地域組織・会員部会 10
- ◆広報・広聴部会 11～13
- ◆安全委員会 14
- ◆あったかサロン用賀 あったかサロン三軒茶屋(仮称)
同世代の方々と楽しいひと時を過ごしませんか? 21
- ◆令和5年度 3年次研修会 22
- ◆令和5年度 第3回組長連絡会議開催 23
- ◆事務局だより・同好会のご案内 24

シルバーせたがや177号

公益社団法人 世田谷区シルバー人材センター

運営の指針

1. 生きがい就業に徹し、生涯現役をつらぬく
2. 会員には一人でも多くの就業の場を確保する
3. 地域社会にシルバー人材センター文化を創造していく
4. シルバー人材センターの認知度を高め、会員が誇りを持って仕事をする環境を整える
5. 地域社会との連携を深める
6. シルバー人材センターは、「超高齢社会に生きる元気高齢者の生き方である」との運動を進める

出典：【第4次中期5か年計画】より

創立45周年を迎えて

創立45周年のご挨拶



公益社団法人
世田谷区シルバー人材センター

会長 山田 正孝

公益社団法人世田谷区シルバー人材センターは、創立45周年を迎えました。

シルバー人材センターの成り立ちは、東京都からはじまった高齢者事業団が1978（昭和53）年に発足し、高齢者の就業支援体制を定めた国の第四次雇用対策基本計画に基づき、「高齢者労働能力活用事業」として、センターを設置している自治体に対する国の補助事業となり、これを契機として世田谷区シルバー人材センターの歴史が始まり今日に至りました。

私自身は令和元年6月の総会で理事となり、広報・広聴部会の部会長に就任しました。同年度末には、新型コロナウイルス流行の影響もあり、部会・委員会を含む多くの活動が中止となりましたが、会報誌の発刊を途絶えさせてはならないと広報・広聴部会全員で頑張ったことを覚えています。

会長就任は、理事1期2年終了時に打診があり、未熟ではあると思いましたが微力でも会員皆さまの助力となる決断で就任しました。

令和3年度の就任1期目では、コロナ禍で殆ど活動ができない状況が続きましたが、苦渋の決断ではあったものの、独自事業の見直し・整備を行いました。

令和4年度には部会・委員会含むイベント等も開催できる状態になり、新規会員の募集についても、従来と同様に出張説明会を開催するなど、積極的に活動を再開したことで会員数も徐々に回復しています。

令和5年6月総会で私は、信任をいただき2期目の会長となり、新任理事を含め定員常数12名の体制を整えました。

各理事は、部会に配属され活動していますが、体制を整えたことでそれぞれが専門分野を担当し効率化と専門性を担って会員のために活動できるようにしました。

現在、センターの会員数は、2,855名（令和5年12月末現在）です。

「公益財団法人東京しごと財団」の統計によるシルバー人材センターへの粗入会率は、2%（令和4年度統計）となっていますが、世田谷区シルバー人材センターの入会率は1.2%と極めて低くなっています。

今後は入会率を上げ会員数を増やしていくために、活気のある組織づくりやサロンなどの会員の抛り所を増設するなど対策を講じていきます。

設立50周年の大いなる転機に向けてこの後の5年間は、実りある活動を行い、後に続く会員の方々へ引き継ぎたいと思います。

会員の皆さまにお願いします「自主・自立、共働・共助」の基本理念は、大事にしてください。

会員は、仲間と仲良く正しい就業を心がけてください。そして健康に留意して「生涯現役」を貫き、会員一丸となって頑張っていきましょう。

創立45周年を迎えて



公益社団法人
世田谷区シルバー人材
センター名誉会長
世田谷区長
保坂 展人

世田谷区シルバー人材センターが創立45周年を迎えられましたこと、心からお祝い申しあげます。

世田谷区シルバー人材センターは、創立以来45年間一貫して、高齢者の方が就業することを通じて生きがいや健康づくりに寄与し、活力ある地域社会実現に貢献されてきました。

特にこの5年の間には、新型コロナウイルス感染症の拡大という危機的状況により、長期間にわたって社会活動が制限されました。これによりコミュニティ活動が希薄となり、社会的孤立が進んだため、身近につながるができる活動が少なくなりました。そのような状況下にあっても、シルバー人材センターの皆さまは、対策を講じながら地域のために活動を継続し、重要な役割を果たしていただいていることに改めて感謝申し上げます。

区も、皆さまと力を合わせて、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすことができる地域社会づくりを進めてまいりますので、引き続き、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

世田谷区シルバー人材センターの今後のますますのご発展と、会員の皆さまのご健勝を祈念いたしまして、お祝いの挨拶とさせていただきます。



世田谷区議会議員
おぎの けんじ

世田谷区シルバー人材センターの創立45周年を祝し、心よりお慶び申しあげます。

貴センターにおかれましては、昭和53年の創立以来、就業等を通じて地域社会に多大な貢献をされてきましたことに対し、心からの感謝と敬意を表する次第でございます。

国内ではコロナ禍などの影響により出生数の減少が進んでおり、今後、超高齢社会を迎えることが予想されています。また、世田谷区においても総人口約91万人に占める65歳以上の方の割合がすでに20%を超えている状況です。

人口減少社会の折、シルバー人材センターの会員の皆様におかれましては、産業や労働の「支え手」また、地域社会に欠かせない人材として、今後もますます重要な役割を担っていただくとともに、ご活躍されることを期待しております。

区議会といたしましても、様々な区政の課題解決に向け全力で取り組んでまいりますので、「自主・自立」、「共働・共助」という崇高な理念のもと、元気に就業され、地域社会の発展に大きく貢献されている会員の皆様の引き続きのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、貴センターの益々のご発展と、会員の皆様のご健勝、ご活躍を祈念申し上げ、お祝いの言葉といたします。

創立45周年を迎えて



公益社団法人
世田谷区シルバー人材
センター 事務局長
小湊 芳晴

世田谷区シルバー人材センター創立45周年を心よりお祝い申し上げます。

私が事務局長として着任した令和3年はまさにコロナ禍で3回目の緊急事態宣言が発出されようとしている頃でした。令和元年度には過去最高の事業規模を示すなど順調に成長してきたシルバーの実績が、令和2年度は10年以上前の規模まで縮小するなど就業事業に大きな打撃を受けるとともに、会員活動にも大きな制限を強いられました。しかし、事業規模はコロナの終息とともに回復傾向にあり、間もなく令和元年度の水準に届かんとしています。これらは、まさしく会員皆様のご努力の賜物と考えております。

令和6年度は現在の中期5か年計画の最終年度であるとともに次期計画をデザインする年でもあります。事務局は裏方として皆様の事業活動の下支えをするとともに、シルバーの益々の発展のために今後とも最大限の努力をしまいたいと考えております。

会員憲章

平成24年6月14日 総会承認

私たちは、シルバー人材センターの基本理念を尊重し、培ってきた知識や経験を社会に役立て 世田谷区の福祉政策と連動して、高齢社会の中で豊かで活力ある地域社会を目指して憲章を定めます。

私たちは

- 1 シルバー人材センターを通じ 働く高齢者の文化を創造していきます
- 1 生きがい 生涯現役を目指し 互いに力を合わせ活動します
- 1 常に健康と安全に配慮し 区民へのサービス向上に努めます
- 1 就業機会の開拓・確保に努め 責任をもって働きます
- 1 地域社会に奉仕の心で 貢献することに努めます

公益社団法人 世田谷区シルバー人材センター

コロナ禍の5年間

コロナ禍の中での就業は...

写真は1回目の緊急事態宣言が出てしばらくした2020年4月19日の日曜日、正午直前の銀座4丁目交差点で撮影されたものです。好天の日曜日の正午であれば人も車も溢れているはずの交差点が、人も車も消えてなくなっているのは衝撃的です。



パンデミックをもたらしたコロナ禍に、各国は検査、治療、感染経路の検証、移動制限、大規模イベントの中止などにより、感染スピードを必死で抑えてきました。

写真 2020年4月19日(日)の銀座4丁目交差点
撮影:Asanagi氏
https://commons.wikimedia.org/wiki/File:Ginza_4-Chome_Crossing_2020-04-19.jpg

いつ元の日常に戻れるか全く分からない状況の中で、人々は自己防衛の方法を模索しました。シルバー人材センターでは高齢社会のなかで、健康で働く意欲のある60歳以上の方が、知識、経験、技能を活かし、一人ひとりが自分にふさわしい就業活動に参加することによって「生きがい」を感じることができる場を提供しています。しかし様々な規制によりその機会を縮小せざるを得ない状況になりました。また、その活動を支える各種部会、委員会の活動も2020年4月から2021年11月まで休止状態でした。

会報誌「シルバーせたがや」もその一つであり、編集会議を開催できませんでした。そのため2020年161号春号のつぎは2020年162号+163号合併の秋号で、合併号にもかかわらず4ページ建てとなりました。会報を楽しみにされていた会員の皆さまには申し訳ないのですが、会員間の拠り所となるよう発刊にこぎつけました。この間にも「お仕事訪問」の機会を得ましたが、皆さま生き活きと就業を楽しんでいらっしゃいました。

コロナの5類移行もあり、より充実した45周年記念号をお届けするとともに、今後コロナ禍を淘汰して活動の幅を回復しつつある各種活動の取材を続け、会員の皆さまに楽しく読んでいただける会報誌をお届けできますよう部会員一同努めてまいります。

ここでは多くの人と接することが多い就業先での、コロナ禍の影響がどのようなものかをまとめてみました。

自転車駐輪場の5年間

シルバー人材センターの就業の中でも大きな割合を占めるのが駐輪場管理業務です。会員が就業している区立駐輪場は全部で54ヵ所あり、多くの方に利用していただいています。その駐輪場もコロナ禍の影響を大きく受けました。駒沢駐輪場で就業されている伊藤前広報・広聴部会長にお伺いしました。

図は2019年から2023年までの駐輪場の利用状況のグラフです。コロナが拡がり始めた2020年はとくに顕著な影響を受けました。例年4月、5月は利用者数が減るのですが、2020年4月は前年のピークに比べて47%と、半数以下に減りました。

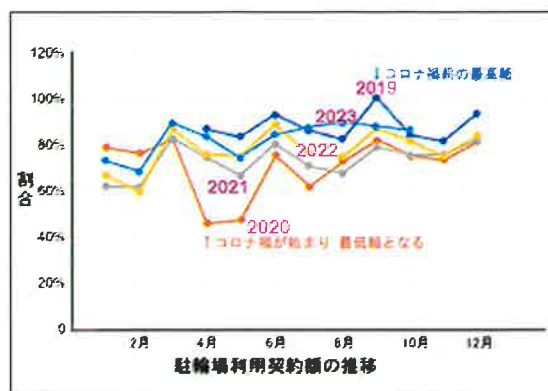
駐輪場利用が減った要因を挙げると、つぎのようなものがあると考えられます。

- ・外出を控えた → 当然ながら駐輪場の利用は大幅に減少する
- ・テレワークの浸透 → 通勤しないので、これも駐輪場利用減少につながる

以上のことから、2020年は大打撃を受けましたが、その後のコロナ禍の就業では、必要以上に利用者と接しない（お声かけいただいた場合のみ駐輪補助作業をする）、必ずマスクを着用する、窓口にアクリル板を設置する、適宜精算機をアルコール消毒するなど、創意工夫を凝らしたこともあり、2021年からは順調に回復していき、2023年には2019年の7～8割程度の利用者数まで戻りました。

最後に、この5年間で感じる駐輪場管理業務の課題を述べますと、電動アシスト自転車が増えたことが挙げられます。ここ数年全国で年間60万台程度の電動アシスト自転車が増えているようです。電動アシスト自転車は、特に重く（20～30kg程度）、またチャイルドシート付となると横幅も大きくなります。利用者の補助作業で、駐輪場の2階・3階に押し上げる場合は非常に苦勞しますし、幅をとるので自転車同士が絡まったりすることもあります。

これからも、時代の変化に合わせて就業体制を工夫したり、自転車の種類ごとに区分けの仕方を変更するなどして、少しでも駐輪場の利用者が増えるように、また就業者も働きやすいように、次世代へつなげていければと考えます。



家事援助サービスの5年間

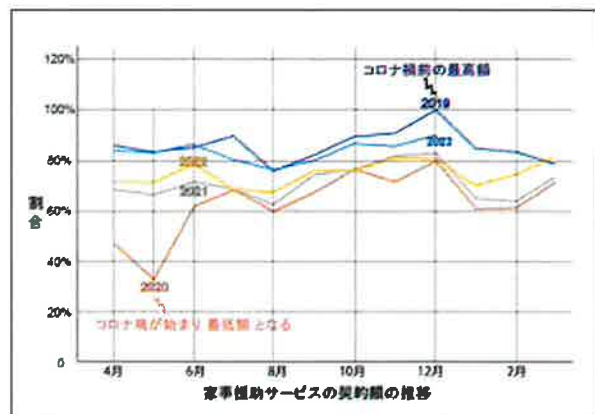
シルバー人材センターの就業の中で「家事援助サービス」は重要な就業の一つです。「継続家事援助サービス」は契約した個人家庭での室内清掃、洗濯、買い物などを、「支えあいサービス」は要支援者などへの風呂場、トイレなどの掃除や洗濯、ゴミ出しなど継続してサービスを行う就業と、単発でのサービスがあります。家事援助サービスの依頼から契約・就業までの流れを図に示しました。実際の就業状況について家事援助サービスのコーディネーターをされている松橋会員にお聞きしました。

家事援助サービスは就業者が契約先の家庭に入っでの就業であり、契約者からは契約した会員に家の中で就業をしてもらう、というシステムです。平常時であれば当たり前前とも思えるサービスですが、コロナ禍の中では、就業者にとってみれば他人の家に入る、契約者にとってみれば他人が家に入ってくる、コロナ感染の心配はないのか…ということになります。

下の図で明確にコロナの影響を見ることができます。2020年4月は2019年のピークに比べると4月はほぼ50%、5月には36%にまで低下しました。しかし6月からは契約額も回復し始め、その後は2019年並みには届かないものの、8割程度にまで回復しています。

この契約額の回復に貢献したのは、就業をされる会員の方々の努力、仕事の依頼を就業会員の方々に伝える担当の方々の努力と、そして家事援助サービスの利用に信頼を寄せていただいた契約者の方々の理解と、それぞれの努力と理解があったからでしょう。

現在の家事援助サービスの利用者は、高齢者からの依頼は減少傾向で、民間の家事サービス業者が増えているためと思われれます。むしろ若い世代の家庭からの依頼が多いことが特徴です。若い世代では共働きの家庭が多いため、家事まで手が回らないことでの利用がうかがわれました。



総務部会

先の創立40周年記念以降創立45周年記念を迎えるまでの総務部会について

【直近5年間（2018年〈平成30年〉7月～2023年〈令和5年〉6月）】

45周年記念号発刊にあたり、現在の総務部会部会長である北野貴晶副会長にお話を伺いました。なお、部会長は、令和5年6月16日の総会後の理事会にて副会長および当部会部会長の就任であり、就任以前の内容については、当部会の記録・年度事業報告等に基づいています。

1、直近5年前期（2018年7月～2020年1月）：

前期では、順調に年度毎の世田谷区やセンターの行事は予定どおり実施され当部会主管関連事業も同様に、多くの会員の参加を得て、盛況かつ実効性ある活動が展開されていた。

2、同中期（2020年2月～2021年11月）：

2020年4月、第2類感染症新型コロナウイルスの蔓延により、社会生活や就業環境へ多大な影響があった。緊急事態宣言が発せられ、センターにおいても会長名で「新型コロナウイルス感染症拡大に伴う対応について」が発せられたことにより、継続可能な就業状態は維持されつつも、多くのセンター事業は中止に追い込まれた。

中期の間は、感染防止のために定例の部会の開催は叶わず、世田谷区やセンターの行事についても中止が余儀なくされ、参加も含めて部会活動は一切行うことはできなかった。

3、同後期（2021年12月～2023年6月）：

2021年10月、組織の活性化と合理化を企図して、運営委員会、就業適正化部会および女性活動推進部会を統合し総務部会が発足した。2021年12月に部会の活動を再開して、諸事業の再開に満を持しての機会を待つ期間となっていた。漸く、2022年3月になると経済活動の再開、外国人の入国が再開されるなどに呼応したのか、せたがやふるさと区民まつり（8月6日～7日）やいきいきせたがや文化祭（9月3日）が再開され参画した。また、独自の「あったかサロン」も4年ぶりに11月10日より毎週1回木曜日に開催されることとなった。なお、2006年から区の高齢者施策に参入した会食サービス「シルバーまんま」が、コロナ禍で中断しながらも再開できたにもかかわらず、利用者に惜しまれながら2023年3月に終了したことが悔やまれる。さらに、2023年になると、3月にはマスク着用が任意、5月になると新型コロナ感染症が第5類になるなど収束に期待が持てる状況となる中、総務部会では統合した組織の下で、一元的な組織によるセンターのかじ取り役を担うべく、総務部会の担当事項を、部会長を含め4人の理事に割り振り、部会員が補佐する方向性を確立させ、その活動が目ざされると同時に大いなる期待を感じさせている。

地域組織・会員部会

コロナ禍に於ける地域組織・会員部会の活動について

2020年1月のコロナ感染の報道以来、深刻化する状況の中、感染を回避する対策が取られました。センターでも各委員会・部会やイベント等が中止となり、会員の就業機会も減少しました。さらに地域活動懇談会、組長連絡会、班長会、ボランティア活動等も中止になり地域活動が完全な停止に追い込まれました。

この間、感染する会員や、この機会に退会する会員も増え、また新規の入会説明会も制限され、会員数は減少を辿っております。

この時期、地域組織・会員部会では今何をすべきかを考えておりました。それは、コロナ禍が終焉した際、どうすればトップスピードで元の状態に戻り、更に発展できる道を探れるだろうかという事でした。

そこで部会員で話し合っただけで決めたことは、それぞれ部会員の周りにはいる会員の皆さまから、「センターや組に対する思いや、地域活動懇談会やボランティア活動参加に対する関心をお尋ねし、お互いが共生していくことの本音をお聴きする」ことでした。その結果は驚くべきものでした。

お尋ねした約100名の皆さまの多くは「入会は小遣い稼ぎであり、そこそこの就業できれば良い」との思いでした。

そこで、我々は、人生100年時代「あと何年過ごせるか」ではなく「これから何年いかに過ごすか」を、安全就業と地域社会との関わりである地域活動懇談会や社会奉仕活動への参加を通して、実現することが重要と考えました。支えられる存在から、互いに支え合う存在になる事を実現していこうとの思いからです。

2023年度、最初に始めたことは、組長のスマホに区からのボランティア情報を入れていただき、そこから自由に参加できる制度と、全組が一斉に貢献できる「せたがやクリーンアップ作戦」への参加でした。

それは、生涯現役を貫き、シルバー人材センター文化の創造に寄与し、元気で充実した生活を過ごすことでもあります。

【参考】以下、「シルバーせたがや」2021年夏号～2023年夏号掲載の地域組織・会員部会の関連記事の一覧リストです。

- ・2021年3月25日開催 令和2年度第1回組長連絡会議の報告 (2021年夏号3ページ)
- ・令和4年度の地域組織・会員部会の取り組み (2022年春号2ページ)
- ・2022年3月24日開催 令和3年度組長連絡会議の報告 (2022年夏号2ページ)
- ・地域組織・会員部会からのお知らせ (2022年夏号4ページ)
- ・2022年6月24日開催 令和4年度第1回組長連絡会議の報告 (2022年秋号3ページ)
- ・地域組織・会員部会からのお知らせ (2022年秋号5ページ)
- ・2022年9月22日開催 令和4年度第2回組長連絡会議の報告 (2023年新年号3ページ)
- ・2022年7月～10月開催 令和4年度3年次研修会の実施報告 (2023年新年号4ページ)
- ・地域組織・会員部会からのお知らせ (2023年新年号5ページ)
- ・2022年12月23日開催 令和4年度第3回組長連絡会議の報告 (2023年春号3ページ)
- ・地域組織・会員部会からのお知らせ (2023年春号4ページ)
- ・2023年3月24日開催 令和4年度第4回組長連絡会議の報告 (2023年夏号2ページ)
- ・地域組織・会員部会からのお知らせ (2023年夏号3ページ)

広報・広聴部会

コロナ禍において広報・広聴部会がささげた 「シルバーせたがや」への紙面づくり

「シルバーせたがや」はシルバー人材センターに会員登録をされた会員とセンターを繋ぐ情報誌としての役割はもとより、会員相互の情報共有となるツールとして、年4回会員の自宅へ配布されています。

部会、委員会の活動報告・就業会員の生の声・ボランティア活動・世田谷区の催しへのシルバーとしての関わり・事務局からのお知らせを手分けして取材、編集を分担して担っています。

コロナ前は毎月1回の編集のための部会取材（記事作成）も滞りなく進んでいましたが、コロナ禍に入り、2020年3月から部会は休止しながらも、感染対策を取り、部会員間で打ち合わせを重ね、苦肉の策ではありましたが、まずはページ減の162号と163号合併号として発行いたしました。その後、164号から定期発刊を再開し通常号に戻しました。

創立45周年記念号の発刊に際し過去5年を振り返って、特にコロナ禍と言われる2021年新年号の「シルバーせたがや」以降の記事を振り返ってみると、「シルバーせたがや」の看板シリーズ欄である「お仕事訪問」の記事がコロナ禍にかかわらず存在しています。

「お仕事訪問」を通しての就業紹介は一部ではありますが、記事のとおり、高齢者側の安全就業および発注者側の安全管理の双方努力の元、受注が確保されてきました。

昨今は、やや影響は薄らぎコロナ禍以前の状況への回復半ばです。当センターの受注減少傾向に対する発注者への働き掛けも底を脱し、反転攻勢の時期となっています。

お仕事訪問記事の中の就業会員は、コロナ禍の状況にも負けず、大工・植木等の経験、パソコンの資格、筆耕の特技を生かした就業、健康管理、余暇の活用の為の就業をされていました。就業に当たっては真剣に取り組み、就業内容の質の向上を図られ、社会に触れることによる自己の活性化と共に社会に少しでも貢献できる喜びを受託し、生き生きとした就業状態が感じられました。

それでは、奇しくもコロナ禍でありながら就業された方々のうち、次に掲げる33業種に就業された方々のお名前を掲げそして文末に何人かの当時掲載された写真を再掲させていただきます。

「シルバーせたがや」掲載 お仕事訪問一覧表

号	年	季	業 種	会員名(敬称略)	備 考
164	2021	新年	スーパーの駐輪場整理	宮原 誠	
			フラワーポットの水やり	根岸 修一郎	
			区のおしらせ発送準備作業	福田 美代子	
166	2021	夏	広報スタンド入替作業	楠田 傑	
			国士舘大学での学生への声掛け・環境整備	内山 五郎	
			市民緑地の門開閉と掃除	永見 美恵	
			大工作業	石井 豪	
167	2021	秋	保育園 園児見守り	安藤 一人	
			封入封緘発送業務	東 千恵子	(「内職」とは言えない！)
			深沢二丁目緑地の管理	武井 秀典	
168	2022	新年	植木剪定梯子の運搬管理	岩崎 謙二	最新会員の就業感想
			山野区民集会所の清掃	井上 博夫	最高齢就業者の感想
			区役所の郵便物管理室での就業	齋藤 夫貴子	グループでの就業紹介
				三堀 玲子	
				河野 清美	
資源再利用支援システム月次データ入力	大田 佳代子				
169	2022	春	集会所自習室の受付	瀬戸 和子	
			世田谷美術館での受付	館田 詔子	
			お焚き上げお札回収	立花 信勝	松陰神社にて
			参拝者用トイレ清掃	白井 和子	松陰神社初詣に際して
170	2022	夏	世田谷税務署自転車整理・案内業務	生田 峰春	
			農業公園の門扉開閉業務	若澤 辰造	
			経堂5丁目特別保護区	広岡 幹雄	お勤めスポット編
171	2022	秋	自転車等の整理案内	櫻井 健	下北沢駅
			世田谷区広報板ポスター掲示	服部 祐治	
173	2023	春	学園敷地内掃き掃除	富岡 四郎	
			小学生下校時の見守り	相馬 哲夫	代田6丁目 下北沢小学校
			※発明の杜市民緑地の開閉門管理	佐々木 典子	成城みつ池北緑地並びに四丁目～※
			筆耕のお仕事(毛筆)	潮田 一美	
174	2023	夏	選挙ポスター掲示場の巡回作業	杉浦 美智子	
			除草作業	後藤 誠隆	
			市民緑地門扉開閉	櫻井 悦子	弦巻4丁目松の木鈴木市民緑地
			マンション清掃	貴船 キヨ	
175	2023	秋	自転車等駐車場管理センター	渡辺 資	
			スマートフォン教室の講師をしています	山下 孚	

今回、創立45周年記念号の発刊にあたり、コロナ禍を振り返るとともに、今の生活をいかにしてシルバーエイジが過ごしているか、またコロナ前とは異なる日々折り合いをつけながら会員活動の中で「新しい毎日に楽しみを見つけ自分らしさ」をエンジョイしているかを再確認できました。

今後も「シルバーせたがや」を通して、シルバー人材センターの活動に関心を持っていただくと共に、会員間の情報交換としての一端を担えるような楽しい誌面作りに力を入れたいと思います。

笑顔いっぱい活躍中



で出会った会員さん!!



安全委員会

安全委員会では、「安全はすべてに優先する」という基本理念に基づき、毎年会員へ「安全標語」を募集し優秀作品は表彰のうえ、年間を通し就業および同関連時への啓蒙と注意喚起の役目を果たしています。近5年に展開された、入選「安全標語」は以下のとおりです。

- 2019年度
 - ・大丈夫と 思う気持ちが 事故のもと
 - ・まず一步 大地を踏みしめ 気も引き締めて
 - ・事故防止 1に点検 2に確認
- 2020年度
 - ・慣れた道路(ミチ) かくれた死角 ひそむ事故
 - ・慌てるな 心を鎮めて 転倒防止
 - ・「安全」は 自分の注意でつくるもの
- 2021年度
 - ・**コロナ禍に 負けるな1歩 足腰しっかり**
 - ・慌てるな 心のゆとりが 事故防ぐ
 - ・**コロバナイ 注意の上に 又注意!**
- 2022年度
 - ・**油断せず 三密さける 外出を**
 - ・確認と 心のゆとりで 事故防止
 - ・**コロナ禍も マスク・手洗い 身を守る**
- 2023年度
 - ・自転車は 止める勇気が 防ぐ事故
 - ・まず健診 健康管理の 出発点
 - ・毎日の 心の健康 笑顔から

標語のテーマについても時節柄をとらえて定めています。例えば、健康管理、自転車交通事故防止、危険予知等々ですが、2021年度、2022年度においては、高齢者へ圧倒的な影響をおよぼしたコロナ感染への防止の注意喚起が求められたことが印象的でした。

下記は、「シルバーせたがや」172号新年号に掲載された、2022年度実施の「自転車シミュレーター講習会」に関する記事です。



「自転車シミュレーター講習会」開く

自転車シミュレーター講習会が、令和4年11月15日(火)に、安全委員会主催により宮坂区民センター大会議室で開催されました。

あいにくの雨模様にもかかわらず、27名の応募のうち25名が参加し、大盛況でほぼ定刻の午前10時に始まりました。

講習は、北沢警察署の警察官2名と自転車シミュレーター業者2名によって行われ、先ず、北沢警察署交通課の方から自転車安全運転の必要性をお話いただいたあと、応募された方々が一人ずつ順番に実体験しました。

自転車シミュレーターは、自転車の上半分(タイヤが取り除かれたもの)のハンドル・ペダルを操作し、それが前方の画面に映るもので、停車のたびに右方向・左方向、もう一度右方向・後ろを確認し、走行中も車や歩いている人その他障害物に、いつも気を配らなければならないということを、気付かせてくれるものでした。

自転車運転中だけでなく、車を運転している時や歩いている時にも、常に注意が必要であることを再確認できる、貴重な講習でした。



当センターの平成30年度からの実績資料編

年度別・事業別実績表

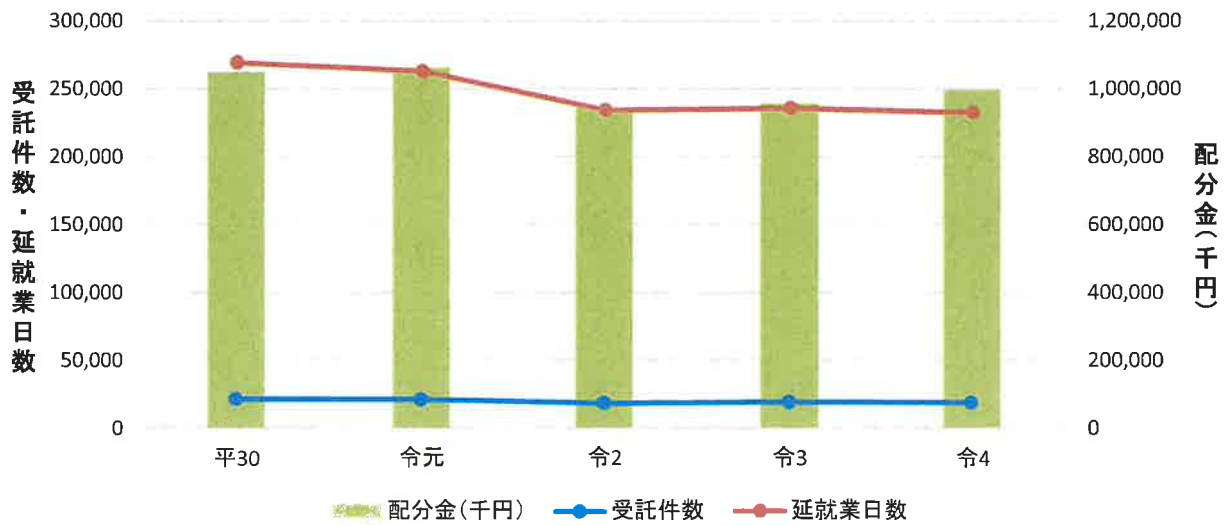
令和5年3月31日現在

年度	年度末 会員数	実人員 (就業率)	受託 事業別	受託事業 件数	就業延日 人員	契約金額 (収入)			単位: 円 合計	構成比 (%)
						配分金	材料費	事務費		
平30	2,967	2,346 79.1%	公共	1,738	124,841	555,678,885	181,438,003	53,499,384	790,616,272	59.1
			企業	6,258	97,680	320,932,313	1,051,769	32,962,604	354,946,686	26.5
			家庭	13,747	44,090	163,160,052	4,212,342	11,946,078	179,318,472	13.4
			独自	126	2,634	11,381,941	1,914,226	664,878	13,961,045	1.0
			合計	21,869	269,245	1,051,153,191	188,616,340	99,072,944	1,338,842,475	100.0
令元	3,121	2,528 81.0%	公共	1,753	121,699	570,044,320	189,975,034	57,004,432	817,023,786	59.9
			企業	5,817	95,736	321,936,853	885,133	33,659,314	356,481,300	26.1
			家庭	13,710	42,845	161,159,375	4,038,926	11,623,727	176,822,028	13.0
			独自	115	2,494	10,704,199	1,913,464	788,487	13,406,150	1.0
			合計	21,395	262,774	1,063,844,747	196,812,557	103,075,960	1,363,733,264	100.0
令2	3,009	2,212 73.5%	公共	1,716	111,070	519,591,110	171,004,160	52,339,616	742,934,886	61.3
			企業	5,523	86,217	283,012,541	1,592,452	28,051,888	312,656,881	25.8
			家庭	11,667	36,977	142,272,597	3,687,706	11,107,099	157,067,402	12.9
			独自	0	0	0	0	0	0	0.0
			合計	18,906	234,264	944,876,248	176,284,318	91,498,603	1,212,659,169	100.0
令3	2,899	2,066 71.3%	公共	1,768	112,080	524,037,547	197,932,214	54,388,647	776,358,408	61.9
			企業	5,469	85,454	284,957,280	960,405	28,248,351	314,166,036	25.1
			家庭	12,362	38,110	148,423,295	3,757,352	10,503,611	162,684,258	13.0
			独自	0	0	0	0	0	0	0.0
			合計	19,599	235,644	957,418,122	202,649,971	93,140,609	1,253,208,702	100.0
令4	2,786	2,264 81.3%	公共	1,875	109,971	558,330,181	212,494,315	59,888,078	830,712,574	63.2
			企業	5,107	83,502	290,327,993	438,753	29,074,872	319,841,618	24.3
			家庭	12,415	38,896	149,618,595	3,263,737	10,063,538	162,945,870	12.4
			独自	23	135	703,575	159,324	338,101	1,201,000	0.1
			合計	19,420	232,504	998,980,344	216,356,129	99,364,589	1,314,701,062	100.0

当センターのあゆみ (2018年(平成30年)～2023年(令和5年))

年月	月	センターの主な動き	月	その他の出来事
平成30年度 (2018)	6	定時総会開催 (世田谷区民会館)	6	西日本豪雨災害
	8	「ふるさと区民まつり」参加 (世田谷区民会館/区役所中庭、若林公園)	10	築地市場、豊洲へ移転
	11	就業感謝のつどい (成城ホール)		
		「いきいきせたがや文化祭」参加 (世田谷区民会館)		
	2	仕事別グループ交流会議		
令和元年度 (2019)	6	定時総会開催 (世田谷区民会館)	5	天皇陛下即位「令和」に改元
	8	「ふるさと区民まつり」参加 (世田谷区民会館/区役所中庭、若林公園)	9	ラグビーW杯開催 日本8強
	11	就業感謝のつどい (成城ホール)	10	消費税率10%スタート
		「いきいきせたがや文化祭」参加 (世田谷区民会館)		
令和2年度 (2020)	6	定時総会開催 (宮坂区民センター大会議室)	4	新型コロナウイルス感染拡大 緊急事態宣言
	※	新型コロナウイルス感染拡大により多くのイベント・会議が中止に	2	コロナワクチン接種開始
令和3年度 (2021)	4	事務局長に小湊芳晴氏が就任 (6月常務理事に選任)	7	東京五輪開催
	6	定時総会開催 (宮坂区民センター大会議室)	10	新型コロナウイルス変異株が猛威
		会長に山田正孝氏が就任	11	大谷翔平メジャーMVP
	※	新型コロナウイルス感染拡大により多くのイベント・会議が中止に	2	北京五輪開催
令和4年度 (2022)	6	定時総会開催 (宮坂区民センター大会議室)	4	改正民法施行 成人年齢18歳に
	8	「ふるさと区民まつり」参加 (国士舘大学、若林公園、松陰神社)	7	安倍元首相銃撃事件
	9	「いきいきせたがや文化祭」参加 (成城ホール)	11	サッカーW杯開催 日本16強
令和5年度 (2023)	6	定時総会開催 (成城ホール) 副会長に北野貴晶氏が就任	5	新型コロナ5類引き下げに

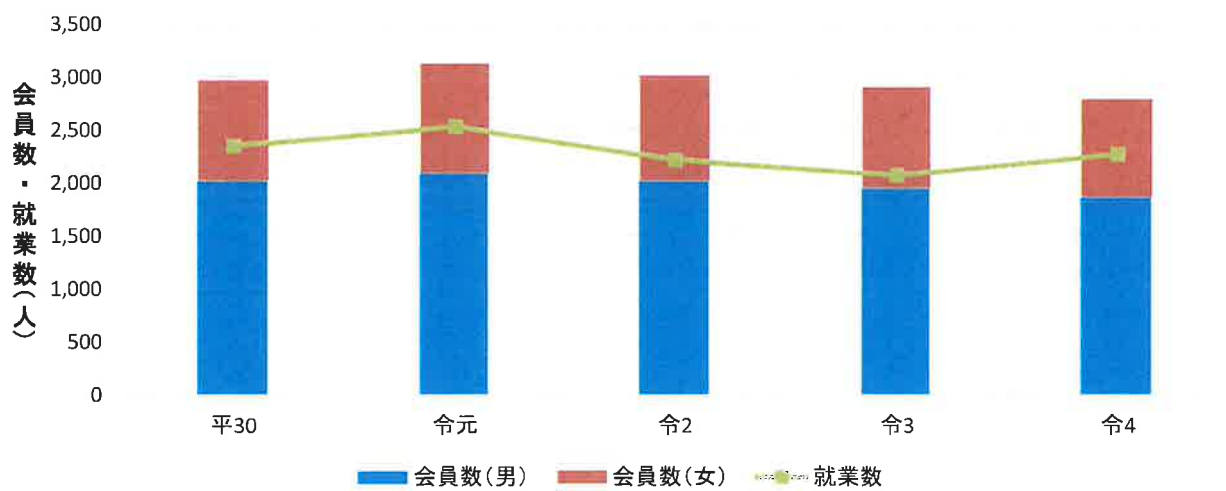
受託件数・延就業日数・配分金の推移



(単位：件、日人員、千円)

年度	平30	令元	令2	令3	令4
受託件数	21,869	21,395	18,906	19,599	19,420
延就業日数	269,245	262,774	234,264	235,644	232,504
配分金(千円)	1,051,153	1,063,844	944,876	957,418	998,980

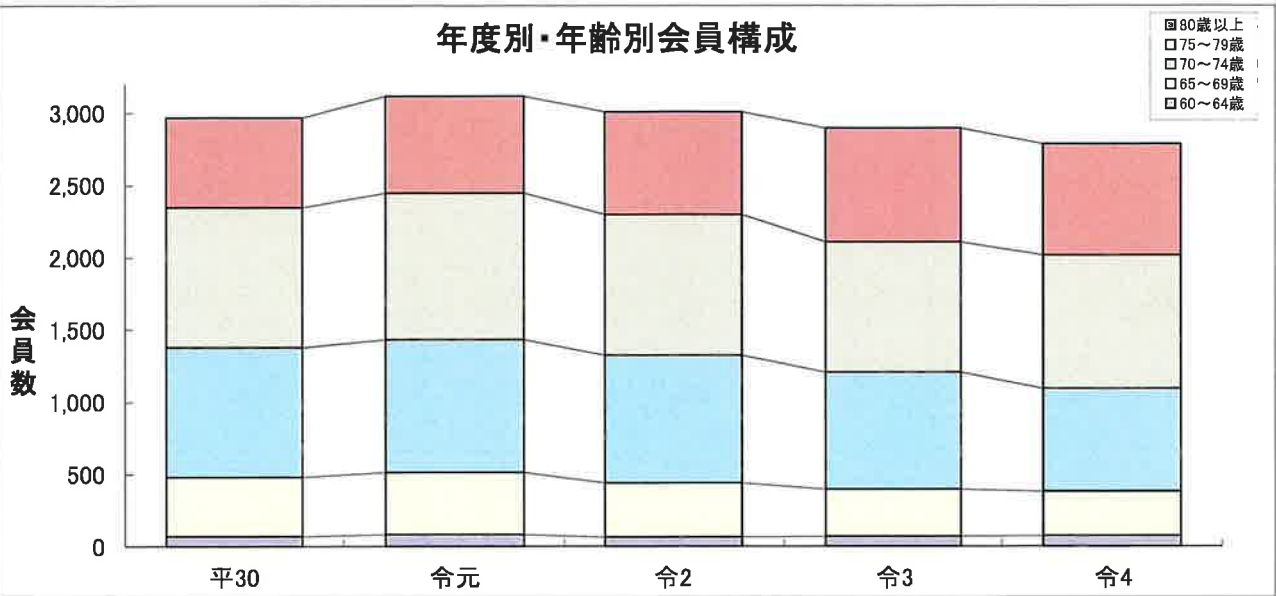
年度別会員数・就業状況



(単位：人)

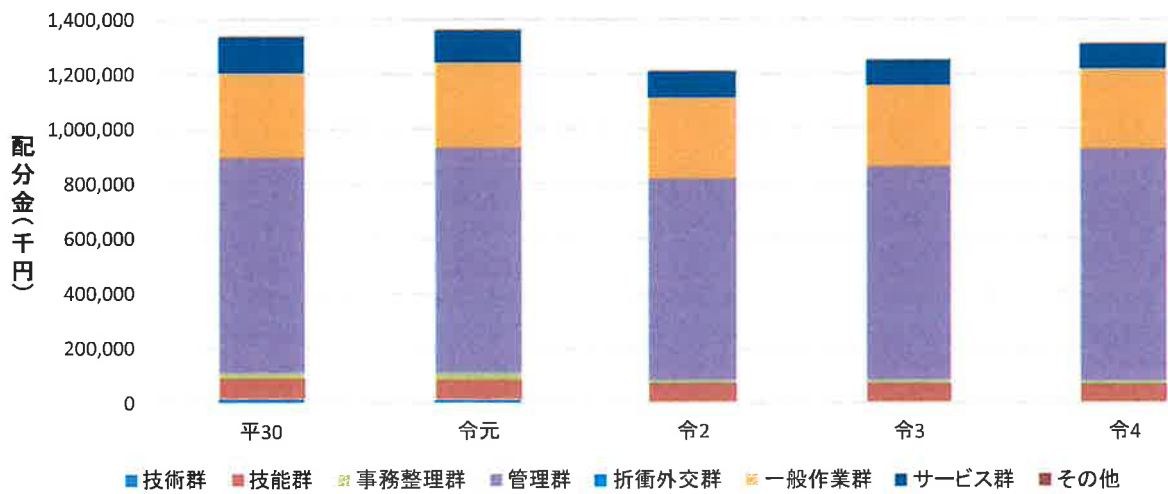
年度	平30	令元	令2	令3	令4
会員数(男)	2,019	2,093	2,014	1,951	1,861
会員数(女)	948	1,028	995	948	925
合計	2,967	3,121	3,009	2,899	2,786
就業数	2,346	2,528	2,212	2,066	2,264

年度別・年齢別会員構成



年齢	平30	令元	令2	令3	令4
60～64歳	72	83	64	68	75
65～69歳	410	431	377	329	308
70～74歳	899	920	884	808	712
75～79歳	969	1,016	976	903	923
80歳以上	617	671	708	791	768

年度別・職群別配分金構成



(単位：千円)

年度	平30	構成比	令元	構成比	令2	構成比	令3	構成比	令4	構成比
技術群	15,280	1.1%	14,593	1.1%	6,255	0.5%	5,416	0.4%	1,644	0.1%
技能群	73,957	5.5%	71,233	5.2%	65,680	5.4%	67,407	5.1%	66,799	5.1%
事務整理群	22,144	1.7%	25,139	1.8%	11,369	0.9%	12,356	1.0%	12,425	0.9%
管理群	787,534	58.8%	823,761	60.4%	737,416	60.8%	779,573	62.2%	848,482	64.5%
折衝外交群	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
一般作業群	308,687	23.1%	311,559	22.8%	297,611	24.6%	298,295	23.8%	293,304	22.3%
サービス群	130,546	9.8%	116,780	8.6%	93,490	7.7%	90,153	7.2%	90,294	6.9%
その他	690	0.1%	665	0.0%	835	0.1%	6	0.0%	1,750	0.1%
合計	1,338,842	100.0%	1,363,733	100.0%	1,212,659	100.0%	1,253,208	100.0%	1,314,701	100.0%

役員名簿・事務局職員名簿について

個人情報保護のため、HP掲載上の
データは非公開といたします。

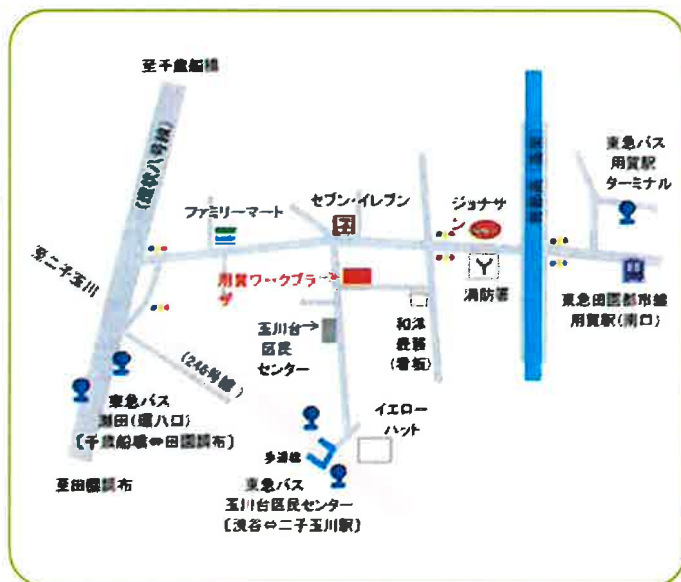
公益社団法人
世田谷区シルバー人材センター所在地



▲烏山支部：世田谷区粕谷 1-7-34
バス：芦花恒春園下車 徒歩7分



▲本部：世田谷区宮坂 1-24-6 宮坂区民センター
東急世田谷線宮坂駅 徒歩0分



▲用賀ワークプラザ：
世田谷区玉川台 1-12-1
東急田園都市線 用賀駅（南口） 徒歩5分

創立45周年記念号編纂委員会

理事・部会員	事務局
--------	-----

理事・部会員・事務局職について
個人情報 保護 のため、HP 掲載上の
データは 非公開 といたします。

シルバー 世たがや

Vol.177

2024.春号

あったかサロン用賀 あったかサロン三軒茶屋(仮称)

同世代の方々と楽しいひと時を過ごしませんか？

用賀で

そんなキャッチフレーズが似合うサロンが用賀駅から徒歩5分の場所に
あります。

世田谷区にお住いの60歳以上の方を対象として講習会やイベント等の機会をご案内し、参加費は無料、毎週木曜12:30~14:30に楽しい企画を開催しボランティアスタッフと共に盛り上がっています。



このサロンはさかのぼること10年前に女性スタッフが主軸となって様々な企画(絵手紙・祝袋作り・毛糸小物作成・映画観賞会・歌の小部屋・お習字等々)を展開していました。コロナ禍にあって一時活動停止し、ご利用者にはご期待に沿えない時期もありましたが、令和4年年11月より再スタートしました。

現在は専任スタッフが2か月サイクルの企画を行事予定として作成し、ボランティアスタッフの援助で利用者の皆さんと楽しい時間の場を持っています。

三軒茶屋にも

また、令和6年度より「三軒茶屋産業プラザ(三茶しゃれなあど)3階小会議室:第一火曜日10:00~15:00」にあったかサロン三軒茶屋(仮称)のオープンが決まりました。

あったかサロンはこれからもボランティアスタッフとともに元気なシルバー達を迎えてわいわい過ごしていきたいと思えます。

令和5年度 3年次研修会

今年度の3年次研修対象会員は154名でした。令和5年7月18日と11月22日に、宮坂区民センターにおいて研修会が開催され、合計53名の方が参加されました。

最初に世田谷区の人権・男女共同参画課平田様より、「人権と多様性」との表題で、多様性を認め合い人権が尊重される社会として、固定的な性別役割分担意識や国籍、民族等の異なる人々の文化的違いにとらわれることなく、外国人等が地域でいきいき暮らしていける社会についてお話しされました。



次に小湊事務局長より世田谷区シルバー人材センターの現状報告がありました。データをもとに会員総数2,818名（平均年齢76.4歳）男女会員比率2：1、この3年間で300人ほど減少したので、プラスに転化して回復させたいとの話をされました。

山田会長からは、センターは就業並びに社会奉仕等の活動機会を確保し、活力ある地域社会づくりに寄与すること、センター運営の基本的理念は、自主・自立、共働・共助であること、そして組織構成と運営、就業形態、運営に関する課題・問題の対処、現況について話をされました。また、ボランティア活動に関しては地域に根ざした活動と、センター全体での活動があることを話されました。そして、「シルバー人材センターに入会してよかったと思える組織作りには皆様のご協力が不可欠であり、就業の多くはグループ就業ですので、お互いに助け合い就業し、楽しいシルバー人材センターにしましょう」と呼びかけました。

中浜部会長からは、人生100年時代です、あと何年生きるかではなく、これからどう生きるかが問題で生涯現役を続けよう、ぜひ各組の組長や班長と協力して信頼関係を築き、社会奉仕の喜びを感じて欲しいと話されました。

事故一覧 最近の事故報告（令和6年2月16日現在）

件数	月日・時間 天候	発生区分	就業内容	事故発生状況	傷害内容	入院日数	
傷害事故	1	23/09/15 16:30 晴れ	就業中	施設管理	閉園準備のため正面玄関周辺を見回り、室内に戻るため石段を登っているとき足が上がりず石段に躓いた。するとバランスを崩し前のめりに転倒した。そのとき、目の前にあった低木の枝が頭に刺さり頭から流血、打撲した。	挫創・挫滅創	通院2日 見込み
	2	23/10/01 10:00 晴れ	就業中	公園清掃	公園清掃が終わり帰宅し、シャワーを浴びるため洋服を脱ぐと服に黒い点があった。体をよく見ると右脚ふくらはぎと膝裏に黒い虫がついていた。その虫を取り調べたらマダニだった。その後、皮膚科を受診し抗生物質の錠剤とステロイド入りの軟膏を処方された。	虫刺され	通院2日 見込み
	3	23/10/09 16:50 晴れ	就業途上 (往)	門扉開閉	夕方、門扉の施錠をするため自転車で現場に向かっていたが、走行中バランスを崩し転倒し足を打撲した。	打撲	通院60日 見込み
	4	23/11/11 18:50 曇り	就業途上 (復)	駐輪場管理	就業の帰りに自転車を運転していた際、前方からきた車を避けようと道路の端に寄りかかろうとしたところバランスを崩し転倒。左腰を強打した。	打撲	通院90日 見込み
	5	23/12/03 14:00 晴れ	就業中	植木の剪定	2階の軒下まで生えているツタを2連の梯子（伸ばして中段付近）に登って切っていたが、足を滑らせバランスを崩してしまい近くにあったブロック塀に跨るような体制で落下した。その後、腰と足を打った。	打撲	通院60日 見込み
	6	24/01/10 10:30 晴れ	就業中	施設管理	施設の職員が脚立を使用し剪定作業中、当センターの会員たちは切り落とした枝を拾い集め裁断していた。長さ4m幅10cmの大ぶりの枝が低木の植栽の上に落とされ、会員はその枝を移動せず、その場で裁断しようとして会員はのこぎりを枝にかけると、枝の重みで低木の植栽の枝が跳ね上がり会員の左目付近に向かって飛んできた。枝の激突によって左目周辺の腫れ、目の充血、痛みがおこった。	打撲	通院2日 見込み
	7	24/02/01 14:30 曇り	就業中	掃き清掃	掃き掃除していて、次の作業場所へ移動しようとしたところ、足元の石庭につかり転倒、右胸を強打した。	骨折	通院30日 見込み
賠償事故	1	23/09/14 12:00 晴れ	家事援助 サービス	就業中	炊飯器周りの清掃をしている最中、隣にあった家庭用電気調理器に手が当たってしまった。家庭用電気調理器はそのまま地面に落ちて破損した。	家庭用 電気調理器	破損
	2	23/10/19 10:00 曇り	家事援助 サービス	就業中	和室を掃除機掛けするとき、掃除機を床框に何度もぶつけてしまった。その結果、床框の淵に細かい傷がついてしまった。	和室の 床框	傷がついて いる

令和5年度 第3回組長連絡会議開催

令和5年12月22日（金）、15組の組長（一部代理）、地域組織・会員部会各員、会長、副会長、事務局長、監事、各組支援理事および事務局各員が参加して、宮坂区民センター大会議室にて開催されました。

山田会長からは会員拡大を望まれる発言がありました。また小湊事務局長から現況報告で、会員拡大のうち女性の拡大指針として全国レベルから都内近隣区の平均レベルに近づけることが必要と訴えられました。なお会員拡大策としての現状は、新聞折込みを伴った入会説明会開催、世田谷線内の掲示等が展開され、毎月の入会数の増加に効果が認められています。

中浜部会長から、新会員と組・班長との接点について実効性あるツール書面の説明があり、今後の活用を促していました。

今回の検討事項として各組長から、

- ①新入会者との面談実施報告
- ②地域活動懇談会の開催状況
- ③ボランティア活動の取組み

等について実情が活発に報告され、本会議が参加者への情報共有の場と機能していました。また、山田会長から、組・班長体制の見直し策の概略が述べられ、今後の重要検討課題となったことがうかがわれました。



山田会長



小湊事務局長



中浜地域組織・会員部会長

～ 今後 参加を呼びかける ボランティア活動 ～

会員の皆さまは、センターあるいは組によるHPでの募集に注目していただき、積極的に参加してください。

- ① 世田谷クリーンアップ作戦 区内各町会の主催による地域の清掃活動
年2回開催 2024年は6月1日～16日 および 12月予定（9月に開催日確定）
- ② 世田谷区たまがわ花火大会後の清掃活動
二子玉川駅近くの会場範囲 毎年 10月の花火大会開催日翌日の日曜日午前
- ③ 東京マラソン観戦者整理
毎年3月の東京マラソン開催日

世田谷区たまがわ花火大会翌日の
清掃ボランティア



船橋地区の清掃ボランティア

烏山地区の
清掃ボランティア



事務局
だより

会費納入のお願い

会費（年1,000円）が未納の方は、宮坂本部または烏山支部へ早急にお納めください。

さわやか相談

理事による就業等の相談を右記の日程にて実施いたします。ご相談がある方は気軽にご参加ください。

【会場】本部 独自事業室
◇4月1日 10:00～15:00
◇5月7日 10:00～15:00
◇6月3日 10:00～15:00

事業報告

令和5年度（4月～R6.1月）

（対前年比）

- ・会員数 2,879名（108名増）
- ・受注件数 16,449件（449件減）
- ・契約金額 11億4,904万円
（5,407万増）
- ・就業率 69.0%（11.4%減）

会員数については、出張説明会の開催や新聞折込等の広告効果により、昨年度同時期に比べ108名の増加となっ

ております。

事業実績については、受注件数は微減でありながら契約金額は昨年度同時期と比較し、5,407万円の増となっております。コロナ前の令和元年同時期と比較しても約3,510万円の増となっております。

今後も安全就業を最優先に事業活動を行い、会員増加・就業拡大に努めてまいります。



表紙の写真

5年間の表紙を集めました。すべて世田谷区内で撮影された写真です。多様な世田谷ですね。

編集後記

創立45周年記念号に伴われた177号となっており、今号は半分の4ページ構成で、掲載できなかった記事もあります。その記念号では、会員の皆さまに少し時を戻して当時のご苦勞を思い出していただけるのではないかと企画となっています。

部会長 記

令和6年4月1日発行 通算第177号 編集発行：公益社団法人 世田谷区シルバー人材センター

本部：〒156-0051 世田谷区宮坂1丁目24番6号 ☎03-3426-9211(代)
烏山支部：〒157-0063 世田谷区粕谷1丁目7番34号

検索 → 「世田谷区シルバー」 ▼ホームページ <https://webc.sjc.ne.jp/setagaya/>

